

ストックリンカプセル 200

【この薬は？】

販売名	ストックリンカプセル 200 STOCRIN Capsules 200
一般名	エファビレンツ Efavirenz
含有量 (1カプセル中)	200mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス剤（非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、H I V（ヒト免疫不全ウイルス）の逆転写酵素を阻害して、ウイルスの増殖をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。

H I V-1 感染症

- ・この薬は、他の抗H I V薬と併用されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化したり、効きにくくなるおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にストックリンカプセル・錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

- ・次の薬を使用している人

シサプリド、トリアゾラム、ミダゾラム、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、エルゴメトリンマレイン酸塩
ボリコナゾール

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・肝臓に障害のある人
- ・B型、C型肝炎に感染したことがある人、またはその疑いのある人
- ・妊娠または妊娠している可能性がある人

○この薬には併用してはいけない薬〔シサプリド（アセナリン、リサモール）、トリアゾラム（ハルシオン）、ミダゾラム（ドルミカム）、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン（カフェルゴット）、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩（ジヒデルゴット）、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（メテルギン）、エルゴメトリンマレイン酸塩（エルゴメトリン）、ボリコナゾール（ブイフェンド）〕や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人では、1回3カプセルを1日1回飲みます。

●どのように飲むか？

- ・コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。
- ・この薬は、食事の有無にかかわらず飲むことができますが、空腹時、できるかぎり寝る前に飲んでください。食事と一緒に使用すると副作用発現の危険性が増加します。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れに気がついたときには、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

精神神経系症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の処方は、患者さんやそれに代わる適切な人が以下の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。
 - ・この薬は、H I V感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性がありますので、この薬を飲んでいながらの身体状況の変化は全て医師に報告してください。
 - ・この薬を長く飲んだ場合の影響についてはわかっていません。

- ・この薬が、性的接触または血液を通した他者へのH I V感染の危険性を低下させるかどうかについては証明されていません。
- ・この薬は、常に他のH I V感染症の薬と併用されます。医師の処方どおりに毎日飲んでください。医師に相談しないでこの薬の量を変更したり、やめたりしないでください。
- ・他の薬を飲んでいるときには、そのことを医師に教えてください。
- ・この薬とアルコール、または中枢神経系に作用する薬と一緒に飲むと、中枢神経系に対する効果が強くでることがあるので注意してください。
- ・この薬を飲んだときに、めまい、集中力の低下、眠ったような状態になることがあります。このような症状があらわれたら、自動車の運転や機械の操作などは避けてください。
- ・この薬は、動物実験で催奇形性（胎児に奇形が生じる可能性）が報告されています。この薬を飲んでいる間やこの薬を中止してから 12 週間は適切な避妊方法で妊娠を避けてください。妊娠した場合には医師に相談してください。
- ・この薬を飲み始めておおよそ 2 週間以内に発疹があらわれることがあります。通常は適切な治療により 1 か月以内に消失しますが、発疹があらわれた場合には、医師に相談してください。
- ・この薬を飲んで精神神経系症状（めまい、集中力障害、眠気やうとうと、おかしな夢を見る、不眠）があらわれることがあります。このような症状はこの薬を飲み始めて 1～2 日後にあらわれ、2～4 週間で消えます。飲み始めの数週間や飲み始めてこのような症状が続く場合には、寝る前に飲むなど飲み方を医師や薬剤師と相談してください。
- ・B型、C型肝炎に感染したことがある人、またはその疑いのある人で、肝臓に影響を及ぼす薬を飲んでいる場合には、肝機能検査が定期的に行われます。
- ・この薬を飲んで血液中のコレステロールやトリグリセライドが上昇することがあります。そのため、使用中は血清脂質を定期的に測定することがあります。
- ・この薬を含めて、H I V感染症の薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり悪化することがあります。
- ・この薬を含むH I V感染症の薬によって体の脂肪の分布が変化し、顔や手足がやせたり、おなかのまわりが大きくなったりすることがあります。
- ・授乳を中止してください。
- ・セイヨウオトギリソウを含有する食品は、この薬に影響しますので控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

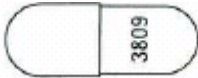
特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (ス ティーブンス-ジョンソンしょうこうぐん)	高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内の ただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い 斑点 (はんてん)、赤い発疹 (ほっしん)、まぶたや 眼の充血、食欲不振、からだがだるい、結膜の ただれ
多形紅斑 たけいこうはん	発疹 (ほっしん) やみずぶくれができる、関節の 痛み、発熱
肝不全 かんふぜん	吐き気、嘔吐 (おうと)、羽ばたくような手のふる え、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	高熱、発熱、からだがだるい、関節の痛み
眼	まぶたや眼の充血、結膜のただれ
口や喉	ひどい口内炎、唇や口内のただれ、吐き気、嘔吐 (おうと)
胸部	吐き気
腹部	食欲不振、吐き気
手・足	関節の痛み、羽ばたくような手のふるえ
皮膚	中央にむくみをともなった赤い斑点 (はんてん)、赤い発疹 (ほっし ん)、発疹 (ほっしん) やみずぶくれができる
その他	陰部の痛み

【この薬の形は？】

形状	 硬カプセル剤
色	キャップ/ボディ：暗黄色/暗黄色
識別コード	3809

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	エファビレンツ
添加物	乳糖水和物、カルボキシメチルスターチナト リウム、ステアリン酸マグネシウム、ラウリ ル硫酸ナトリウム、ゼラチン (カプセル本体)

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：万有製薬株式会社

(<http://www.banyu.co.jp/>)

情報サービスセンター

フリーダイヤル：0120-024-964

受付時間：9：00～18：00

(土日祝日・製造販売会社休日を除く)